

公益財団法人久留米文化振興会

2024 年度 事業報告書

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

目 次

	Page
I 事業の概要	4
II 事業活動	5
《公益目的事業》	6
公1 芸術文化施設等の管理運営事業	7～8
公2 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業	9～14
公3 美術館運営事業	15～20
《収益事業》	21
収1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業	
収2 売店・喫茶事業	
収3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業	
収4 久留米市の公共施設の指定管理事業	
収5 駐車場管理運営事業	
《事務局事業》	22
III 処務の概況	23～25
1 役員に関する事項	
2 会議に関する事項	
3 許可・認可・承認に関する事項	
4 届出・申請等に関する事項	
5 組織に関する事項	
IV 附属明細書	25

I 事業の概要

当財団が管理運営する石橋文化センターは、株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、1956年に建設、久留米市に寄贈された文化施設です。

石橋文化センターでは、美術館、文化ホール、日本庭園等の機能を活かし、文化芸術や観光の両面から取り組みを行っており、年間を通じて、鑑賞公演や庭園の散策に市内外から多くの方々が訪れられています。

2024年度は、まず、久留米市美術館では4本の展覧会を開催し、このうち、「日本が見たドニ | ドニの見た日本」（公益財団法人石橋財団特別助成）は、日本近代洋画をフランス人画家との影響関係から読み直す企画展でオリジナリティの高さが評価されました。また、同展では大型作品も展示しましたが、これは2022年に新設されたトラックヤードにより実現化したものです。「藍のものがたり」展では、1階ギャラリーで開催された久留米市主催「久留米絢展」との相乗効果を図ることができました。さらに、教育普及の新たな取り組みとして、園児（幼稚園・保育園）たちへの特別鑑賞や「プレママ&キッズデー」を設けるなど鑑賞機会が少ない層への来館促進に努めました。

石橋文化ホール・文化会館は、2024年3月をもって閉館した共同ホール利用者にて丁寧に対応調整したこともあり、前年度を上回る利用があり、自主事業として実施した鑑賞事業と市民参加型事業でも多くの方に来場いただきました。また、文化ホールの長寿命化計画策定に向け建物の劣化調査を実施しました。

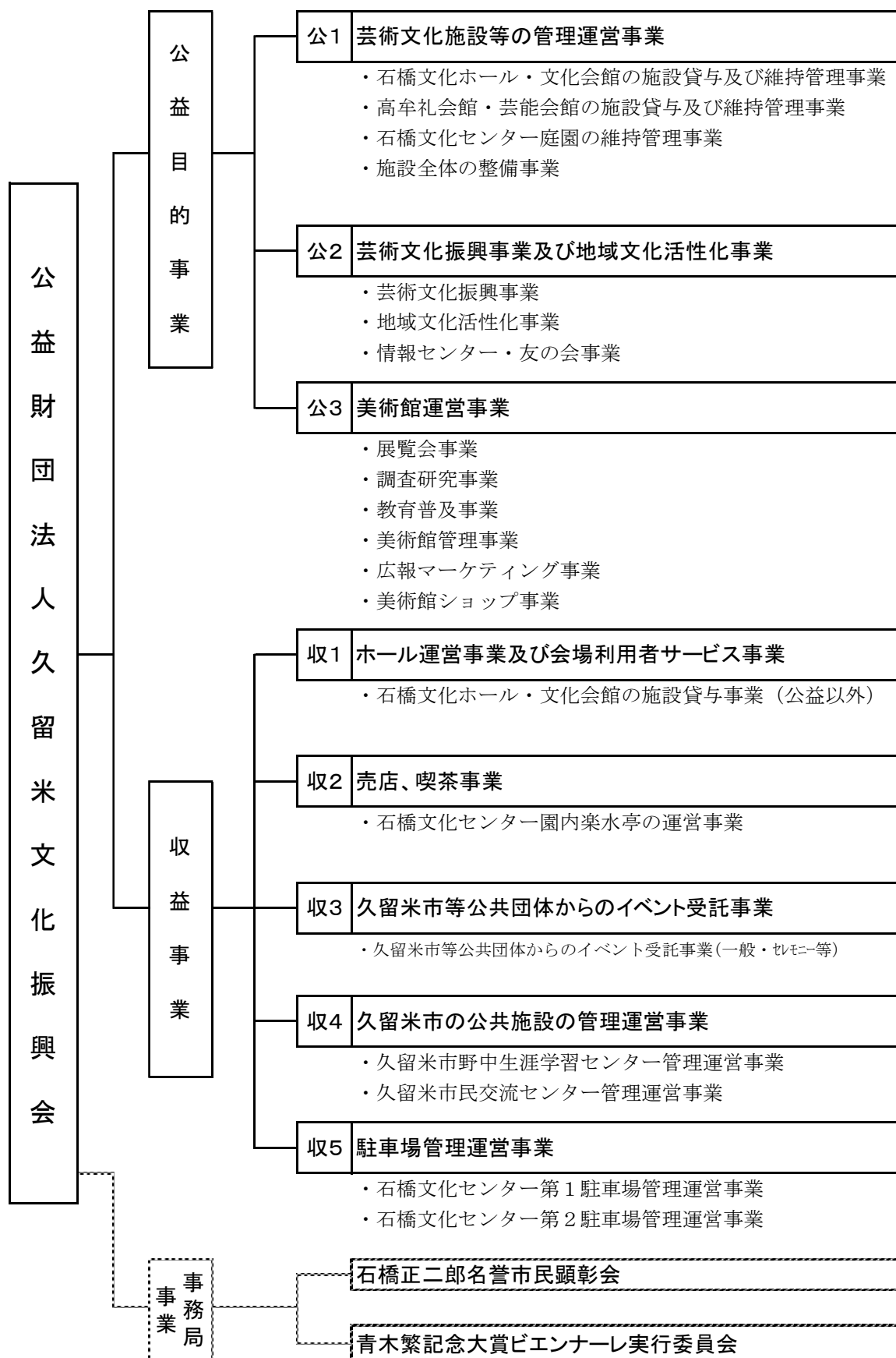
園内では、季節の花木をテーマとしたイベントの他、ライトアップ設備を活かしたミュージアムハロウィン、ミュージアムクリスマスの開催、大学生等と連携したアートフェスティバルを開催しました。

また、大雨に備えた冠水対策として、正面エリアの排水整備工事を実施しました。

この他、2026年4月の石橋文化センター開園70周年に向け、記念イベントの素案策定及び園路のバリアフリー化に向けた設計業務、市美術館開館10周年に向けた記念展など周年事業への準備に取り組みしました。

Ⅱ. 事業活動

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



《公益目的事業》

久留米市美術館、文化ホール、庭園を中心に、芸術文化の振興と地域文化の活性化を図る様々な事業に取り組みました。

【石橋文化センター入園者及び主要施設の利用状況】 (単位：人)

	当年度	前年度	対前年比
石橋文化センター入園者数	420,449	419,423	1,026
久留米市美術館 主催展覧会入館者数	35,700	44,000	▲8,300
石橋正二郎記念館入館者数	16,367	20,006	▲3,639
石橋文化ホール入場者数	93,760	70,563	23,197
石橋文化会館入場者数	42,471	33,487	8,984
共同ホール入場者数	閉館	36,147	▲36,147

*共同ホールは2024年3月31日をもって閉館

【石橋文化センター入園者等の月別推移】

	入園者数（人）			展覧会入館者数（人）		
	当年度	前年度	対前年度	当年度	前年度	対前年度
4月	36,443	42,070	▲5,627	1,182	2,289	▲1,107
5月	90,850	78,895	11,955	3,340	3,782	▲442
6月	28,078	30,642	▲2,564	2,921	3,910	▲989
7月	18,520	25,761	▲7,241	1,982	6,670	▲4,688
8月	21,990	26,348	▲4,358	2,292	7,470	▲5,178
9月	22,943	26,836	▲3,893	3,181	3,102	79
10月	37,167	39,322	▲2,155	3,199	3,346	▲147
11月	43,271	45,065	▲1,794	4,292	4,914	▲622
12月	31,855	28,709	3,146	3,573	3,835	▲262
1月	27,394	25,505	1,889	3,446	4,682	▲1,236
2月	24,417	22,189	2,228	3,099	－	3,099
3月	37,521	28,081	9,440	3,193	－	3,193
合 計	420,449	419,423	1,026	35,700	44,000	▲8,300

*美術館（1階除く）は2024年1月29日～4月19日まで外壁等改修工事のため休館

公 1	芸術文化施設等の管理運営事業
-----	----------------

石橋文化センター諸施設並びに高牟礼会館の施設貸与及び維持管理事業を行いました。

公 1—I 施設の貸与事業

1 石橋文化ホール・文化会館、共同ホール

※共同ホールは 2024 年 3 月 31 日をもって閉館

施 設			開館 日数	利用 日数	利用率 (%)	利用者数 (人)
石橋文化ホール		当年度	272	210	77.2	93,760
		前年度	313	177	56.6	70,714
石 橋 文 化 会 館	小ホール	当年度	290	230	79.3	16,577
		前年度	313	175	55.9	11,630
	会議室・研修室	当年度	1,568	910	58.0	19,694
		前年度	1,565	822	52.5	15,072
	市民ギャラリー	当年度	316	209	66.1	6,200
		前年度	313	163	52.1	6,785
小 計					当年度	136,231
					前年度	104,201
共同ホール		当年度	－	－	－	－
		前年度	313	127	40.6	26,234
研修棟		当年度	－	－	－	－
		前年度	1,878	647	34.5	9,913
小 計					当年度	－
					前年度	36,147
合 計					当年度	136,231
					前年度	140,348

※当年度から、点検等で利用できない日は、開館日数から控除しています。

【利用促進事業】

事 業		実施回数など	
ちょっと気軽にピアノ発表会 (小ホール)		当年度	11 件 586 人利用
		前年度	13 件 905 人利用
練習利用	石橋文化ホール	当年度	3 件 105 人利用
		前年度	3 件 118 人利用
	小ホール	当年度	42 件 1,998 人利用
		前年度	21 件 762 人利用

2 高牟礼会館

【施設貸与状況】

年度	件数	利用人数	利用者作品展
当年度	1,716 件	19,246 人	1 回
前年度	1,781 件	18,322 人	1 回

公 1 — II 施設の維持管理

1 庭園管理

来園のお客様に対し年間通じて季節の花木を楽しんでもらえるように、「ななつの花めぐり」の実施など植栽の適正な生育管理に努めました。

特に、バラ園は日本有数のバラ園を目指しガーデンサポーター（ボランティア）の協力もいただきながら日々管理しました。また、初夏の水生植物の管理も強化しました。

さらに、長年の課題であった園内のバリアフリー工事（憩いの森東側スロープ工事及び白鳥の池周辺園路舗装）の設計、バラの品種銘板（二次元バーコード付）更新や屋外トイレ手洗い自動水栓化、外灯の LED 化など利用者の利便性向上に努めました。

2 施設整備事業

文化センター諸施設の機能維持や安全性確保のために以下の事業を行いました。

石橋文化ホール構造躯体等劣化調査業務

石橋文化ホールオーケストラピット改修工事基本計画策定業務

石橋文化会館 2 階会議室空調機更新修繕

石橋文化センターみどりのリズム広場排水整備工事

公 2	芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業
-----	---------------------

文化ホールや文化センター園内において音楽やアートフェスティバル、ななつの花めぐりを開催しました。また、市内各地域において音楽イベントや学校への芸術家派遣事業を行いました。

公 2 — I 芸術文化振興事業

1. 優れた芸術文化公演等の鑑賞事業

事業名	開催日・会場・料金	入場者数
ドラゴンクエストコンサート 交響組曲ドラゴンクエストV 天空の花嫁	2024年8月17日（土） 石橋文化ホール 5,500円	1,071人
村治佳織ギターリサイタル	2024年11月10日（日） 石橋文化ホール 5,000円	1,040人
声優朗読劇フォアレゼン 〜リチャード三世〜	2025年1月26日（日） 石橋文化ホール 6,800円（トライアル席3,500円）	1,012人

2. 市民の文化活動の支援や地域文化団体の育成事業

事業名	開催日・会場・料金	入場者数
第35回くるめ新人演奏会	2024年5月19日（日） 石橋文化ホール 1,000円	350人
くるめ音楽祭 2024	石橋文化ホール 入場無料（要整理券）	1,563人
アンサンブル・フェスティバル	2024年9月8日（日）	732人
吹奏楽祭	2024年9月15日（日）	487人
合唱祭	2024年9月16日（月祝）	344人
第53回市民ブラス・コンサート 2025 ニューイヤー・バンド・フェスティバル	2025年1月12日（日） 石橋文化ホール 入場無料（要整理券）	1,009人

3. 青少年の芸術文化体験事業

（1）石橋文化センター開園記念こどもスケッチ大会

季節を感じる豊かな自然の中で、園児や児童の絵に対する関心を高めるとともに、その感性を育成するため実施しており、今年度も実施しました。

開催日：4月23日（日）10:00～16:00

場所：石橋文化センター園内

参加人数：442人

(2) 学校への芸術家等派遣事業（久留米市からの受託事業）

学校と芸術家との協働で、子どもが文化芸術体験を通じて学び、表現できる環境を整える目的として、市内の小学校 30 校でワークショップを実施しました。

ジャンル	学校数	参加生徒数
音楽	2 校	183 人
華道	1 校	38 人
邦楽	4 校	157 人
水墨画	3 校	165 人
狂言	4 校	425 人
能	7 校	524 人
馬頭琴	9 校	297 人
合計(前年度)	30 校 (29 校)	1,789 人 (2,244 人)

公 2—Ⅱ 地域文化活性化事業

1. 石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

(1) ななつの花めぐり

石橋文化センターの庭園を活用し、季節を捉えた「ななつの花めぐり」のイベントを実施しました。

事業名	開催日	主要イベント参加者数	期間中 入園者数
春のバラフェア	4 月 27 日（土） ～5 月 26 日（日）	コンサート 2,940 人 ワークショップ 362 人 ライトアップ 2,345 人	102,347 人
初夏の花まつり	5 月 18 日（土） ～6 月 16 日（日）	ホテル観賞 1,386 人 コンサート 300 人 ミニ夜市 480 人	45,026 人
夏祭り	8 月 16 日（金） 17 日（土）	日本庭園 [※] 「シャルライブ」 660 人 夏夜市 1,229 人	1,663 人
秋のバラフェア	10 月 12 日（土） ～11 月 17 日（日）	コンサート 610 人 ※ハロウィン×ローズガーデンコンサート	53,202 人
もみじまつり	11 月 19 日（火） ～12 月 1 日（日）	カフェライブ 290 人 ライトアップ 1,564 人	19,395 人
春の花まつり (梅まつり、つばきまつり、SAKURA・チューリップまつり)	2025 年 2 月 15 日（土） ～4 月 6 日（日）	梅・つばき・桜・チューリップコンサート 1,320 人 夜桜ライトアップ 938 人	62,913 人
合 計			284,546 人

(2) 坂本繁二郎旧アトリエ特別公開

園内の事業に合わせて坂本繁二郎旧アトリエを公開しました。

事業名	開催日	入場者数
春のバラフェア	5月3日(金・祝)、4日(土)、5日(日)、 6日(月・振)、11日(土)、12日(日)	1,948人
初夏の花まつり	6月1日(土)	115人
秋のバラフェア	10月26日(土)、27日(日)	217人
もみじまつり	11月23日(土・祝)、24日(日)	342人
つばきまつり	2025年3月15日(土)、16日(日)	124人
さくらまつり	2025年3月29日(土)、30日(日)	354人
合 計		15日間 3,100人

(3) ミュージアムコンサート

市民に優れた演奏を気軽に楽しめる機会を提供するとともに、コンサートチケットの提示により美術館展覧会の鑑賞促進を図りました。また、昨年に引き続き、子供向けミュージアムコンサートも開催しました。

入場料：①500円 ②④一般1,000円 ③一般1,200円

会 場：石橋文化ホール

事業名・開催日・内容		入場者数
① 6月2日(日)	フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、 ピアノ、語り	384人
② 9月23日(月祝) ※for キッズ	ヴァイオリン、ピアノ、パーカッション(歌)	439人
② 12月17日(火)	サクソフォン、ギター、ヴォーカル	415人
③ 3月 2日(日)	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	432人
合 計		1,670人

(4) 0歳からのキッズコンサート

鑑賞機会が少ない未就学児及び保護者をターゲットに、アニメや子ども向けの曲を中心としたプログラム構成で開催しました。音楽ホールでの音楽鑑賞を身近に感じていただけるような演出に努めました。

開催日：2025年3月8日(土)

会 場：石橋文化ホール

入場料：一般：1,000円、ファミリーチケット：500円、高校生以下：無料

入場者：918人

(5) ミュージアムハロウィン

親子で夜の文化センターを楽しめるイベントとして実施。コンサートやマルシェ、仮装イベントなどを開催しました。

開催日：10月5日（土）～10月31日（木）

ライトアップは26日（土）、27日（日）、31日（木）の3日間（20時まで）

期間中入園者：34,568人（夜間ライトアップ1,249人）

(6) 石橋文化センターアートフェスティバル

2016年11月の久留米市美術館開館を機に美術館のコンセプトである「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」として取り組んでいる事業で、子どもたちや大学生、アーティストとの協働プロジェクトで、開催期間に作品を展示しました。

開催日：11月2日（土）～17日（日）

会場：石橋文化センター園内各所

期間中入園者：26,371人

①子どもたちとアーティストによるアート創造プロジェクト

作品名：しあわせの家をつくる

制作者：天野百恵（アーティスト）、小学生31名

展示場所：築山

②アーティストを志す大学生等の創作活動支援プロジェクト

作品名：水妖の棲み家

制作者：九州産業大学大学院 芸術研修科

展示場所：東屋とその周辺

③大学生等による若手アーティストへの創作支援プロジェクト

作品名：オレクトロニカアートセンター 路上活動実践室

制作者：佐賀大学芸術地域デザイン学部・オレクトロニカ（加藤亮、児玉順平）

展示場所：図書館南側

④特別プロジェクト

作品名：光をあつめて地にもどす 軽さ・明るさ Lightness/Lightness

制作者：オーギカナエ

展示場所：坂本繁二郎旧アトリエ、隣接する広場

(7) ミュージアムクリスマス

コンサートやワークショップなどのクリスマスイベントに加え、園内をライトアップとイルミネーションで彩りました。

開催日：12月14日（土）～12月25日（木）

（イルミネーションは期間中の金土日7日間）

期間中入園者：13,188人（イルミネーション2,253人）

2. 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業

(久留米市からの受託事業)

(1) KURUME TEENS MUSIC PROJECT 2024

会場：久留米シティプラザ スタジオ及びCボックス

7月～9月(4回) 参加者 91人

(2) くるめライブチャレンジ 2024

ア：予選ステージ

会場：久留米シティプラザ C-BOX

① 9月1日(日) 出場：8組

入場者：390人

② 10月5日(土) 出場：8組

入場者：480人

③ 11月3日(日) 出場：8組

入場者：470人

イ：ファイナルステージ

会場：久留米シティプラザ 久留米座

開催日：2025年1月25日(土) 出場：12組

入場者：1,630人

審査結果：【グランプリ(年間チャンピオン)】 奏

【審査員特別賞】 portfog

【オーディエンス賞】 zoo zoo sea

(3) KURUME MUSIC FES. 2025 六角堂広場ステージ

開催日：2025年3月30日(日)

会場：久留米シティプラザ 六角堂広場

入場：無料

入場者数：500人

(4) 久留米シティプラザ六角堂広場ランチタイムコンサート

会場：久留米シティプラザ 六角堂広場

事業名・開催日・内容		入場者数
① 5月16日(木)	江川靖志(テノール)等	450人
② 6月13日(木)	アライタケヒト(アコーディオン)等	490人
③ 7月11日(木)	足立雄大(サクソフォン)等	450人
合 計		1,370人

(5) 邦楽振興事業

① 邦楽ワークショップ

開催日：10月6日(日)

・ 箏曲発祥の地“大本山善導寺”ツアー 参加 48人

・ 善導寺で聴く小演奏会 参加 60人

② 邦楽演奏会 箏曲のふるさと久留米 「春を彩る邦楽のしらべ」

開催日：2025年3月15日(土)

会場：石橋文化ホール

入場者：200名 ※後日 YouTube 配信

3. 地域の施設や団体と連携した地域活性化事業

(1) くるめぐるフェスタ

近隣5施設（石橋文化センター、久留米市美術館、福岡県青少年科学館、くるめウス久留米市鳥類センター）で連携し各施設を巡るスタンプラリーを実施しました。

また、5施設共同による「くるめぐるフェスタ」を開催しました。

開催日：9月7日（土）

会 場：石橋文化センター園内

入園者：945人

(2) 久留米まち旅博覧会

①スマホ de フォトレッスン

2024年5月19日（日） 参加人数 19人

②ナチュラルリースレッスン

2024年11月7日（木） 参加人数 10人

公2—Ⅲ 情報センター友の会事業

1. 情報誌の発行・ホームページの運営

情報誌「みどりのリズム」を隔月発行（10,000部/回）しました。また、公式LINE、公式Instagram等SNSを積極的に活用し、文化センターや市美術館の情報をタイムリーに幅広く発信しました。

2. 友の会事業

ミュージアム会員 年会費 5,000円（継続 3,000円）展覧会年間フリーパス等

スタンダード会員 年会費 2,000円（継続 1,000円）展覧会団体割引料金

(1) 会員の状況

区 分	新規	継続	合 計（前年度）
ミュージアム会員	45人	312人	357人（370人）
スタンダード会員	35人	69人	103人（97人）
合 計			460人（467人）

(2) 友の会会員事業

①絵手紙教室

2回（延べ25人）

②ミュージアム会員限定ギャラリートーク

会場：久留米市美術館2階

8回（延べ72人）

3. 石橋文化センター情報サテライト（久留米シティプラザ2階）

情報サテライトでは、石橋文化センターや久留米市美術館、その他文化情報の発信の他、石橋文化センターや久留米シティプラザで開催するコンサートチケットも販売し、市民の利便性向上を図りました。

久留米市の「新たな美術館の基本方針」に基づき、市民をはじめ多くの方々に親しまれる美術館となることを目指し、指定管理者として久留米市美術館の管理運営を行いました。前年度からの美術館外壁改修及び2階展示室の壁補修工事の完了後、バラフェアの開催に先立つ4月20日にリオープンし、2024年度の活動を開始しました。

1. 展覧会事業

美術館2階展示室では4本の企画展を行いました。

① 「ちくご ist 尾花成春」

2024年度より、地域の作家を深掘りするシリーズ「ちくご ist」を開始し、初回展として、うきは市吉井の画家・尾花成春を取り上げ、筑後の地で生涯ひたすら描き続けた画家の全体像を示しました。

② 「藍のものがたり」

伝統工芸、久留米絣の魅力を支える「藍」を幅広く紹介。関連事業として文化センター園内で種から藍を栽培し、収穫した葉を用いたワークショップなどを実施しました。会期中の連携事業として、1階ギャラリーでは文化財保護課、絣保存会による実演を交えた久留米絣展ほかを行いました。

③ 「日本が見たドニ | ドニの見た日本」

フランス人画家モーリス・ドニをとりあげ、19世紀のジャポニズムから戦前期まで、様々な日本美術との影響の連鎖を辿ることで、日本近代洋画の読み直しをはかりました。壁画として構想された大型作品の出品は、2022年に石橋財団の寄付によるトラックヤードの新設により可能になったものです。

④ 響きあう絵画宮城県美術館コレクション

リニューアル改修工事に伴い長期休館中の宮城県美術館から、カンディンスキー、クレー、松本竣介など、同館コレクションのハイライトともいえる作品をまとめて借用する展覧会です。

展 覧 会	会 期	一 般 料 金	入館者数 (1日平均)
ちくご ist 尾花成春	4月20日(土) ～7月7日(日) (70日間)	700円	8,433人 (120人)
藍のものがたり	7月20日(土) ～10月14日(月・祝) (76日間)	1,000円	9,664人 (127人)
日本が見たドニ ドニの見た日本	11月2日(土) ～2025年1月13日(月・祝) (60日間)	1,200円	11,311人 (189人)
響きあう絵画 宮城県美術館コレクション	2025年2月8日(土) ～5月11日(日) (82日間:2024年度45日間)	1,000円	2/8～3/31 6,292人 (140人)
2024年度合計(251日間)			35,700人 (142人)

2. 石橋正二郎記念館の運営

石橋正二郎記念館展示室では、寄託中の石橋財団コレクションから、石橋正二郎にちなんだテーマ展示を4期行いました。近隣の学校の地域学習をはじめ団体見学も積極的に受け入れ、動画などを通じて正二郎のひととなりや業績、芸術振興への尽力を紹介しました。展示作品の解説は、スマートフォンによる音声ガイドアプリにてバイリンガルで提供し、海外からの来館者の利便性を高めました。

期	展示テーマ	会 期	入館者数 (1日平均)
第26期	正二郎の生きた時代 ー1956 文化センター開園	4月20日(土) ～7月15日(月・祝) (77日間)	4,394人 (57人)
第27期	正二郎の生きた時代 ー1962 パリ里帰り展	7月20(土) ～10月20日(日) (82日間)	4,210人 (51人)
第28期	正二郎の生きた時代ー ー1889 誕生	11月2日(土) ～2025年1月26日(日) (72日間)	4,672人 (65人)
第29期	正二郎の生きた時代ー ー1928 久留米大学開学	2025年2月8日(土) ～5月11日(日) (88日間:2024年度45日間)	※3/31迄3,091人 (69人)
2024年度合計(276日間)			16,367人 (59人)

3. 調査研究事業

(1) 作品収集、保存・修復のための調査研究

①久留米市美術品収集委員会で審議する候補作品の選定

「久留米市美術品収集方針」に沿った作品を2024年度の収集候補作品リストとして久留米市に提出しました。また、2023年度に久留米市美術品収集委員会での審議を経て購入及び寄贈を受入れた作品については状態調査に基づいた画面および額の修復・改善を経て収蔵庫にて保管しました。

②展示・保管環境の管理

久留米市所蔵品や石橋財団及び個人からの寄託作品の保全のため、万全の管理に努めています。2024年度は「日本が見たドニ | ドニの見た日本」展などで国立西洋美術館をはじめとする多数の所蔵館から名品の数々を借用展示したため、美術館の展示環境に問題がないよう搬出入口や空調、温湿度等の管理を徹底しました。

③収蔵作品の公開

所蔵作品についてはデータベースを作成し、久留米市美術館ホームページの「作品検索」機能で所蔵品の情報を公開しています。収蔵作品・寄託作品については定期的な棚卸しにより所在や状態を把握し、新規収蔵作品については一般公開のための写真撮影を進めています。

(2) 作家・作品及び展覧会企画のための調査研究

2024 年度に開催した展覧会「尾花成春」や「日本が見たドニ | ドニの見た日本」においては作家・作品の調査研究に基づく成果を展示に反映するとともに図録等で発表しました。作品収集や、次年度以降の展覧会企画の実施に向けての調査研究についても継続的に行なっています。

(3) 久留米市美術館年報 7 (2023. 4-2024. 3) の刊行

久留米市美術館の 2023 年度の活動報告・作品収集状況をまとめた年報を刊行しました。

4. 教育普及事業

(1) 展覧会に関する美術講座等の開催

①展覧会関連美術講座・ギャラリートーク等 ※みゅ〜ず講座は除く

各展覧会において担当学芸員による講座やギャラリートーク、ボランティアによるギャラリートークを実施し、3本の展覧会では外部講師を招いた講座を開催しました。

講座名 (講師名)	開催日	参加者数
1 「ちくご ist 尾花成春」 関連		
① 美術講座「筑後川の原像-尾花成春と風景の哲学」 (深野治氏/元フクニチ新聞記者、『西日本文化』編集長)	5 月 11 日 (土)	50 人
② 「尾花成春へのオマージュ 1F ギャラリーコンサート」	5 月 26 日 (日) 6 月 20 日 (木)	63 人 59 人
③ 「尾花成春へのオマージュ ミュージアムコンサート」 出演: 長谷瑞 (フルート)、大山佳織 (ヴァイオリン)、 黒川律子 (ビオラ)、清水潔子 (チェロ)、和田美枝 (ピアノ)、佐々恭子 (語り)	6 月 2 日 (日)	384 人
④ 美術講座「筑後の人、尾花成春」 (森智志/当館学芸員)	6 月 8 日 (土)	47 人
⑤ 担当学芸員によるギャラリートーク	6 月 22 日 (土)	30 人
⑥ ボランティアによるギャラリートーク 全 6 回	第 1・3・5 土曜	計 95 人
2 「藍のものがたり」 関連		
① 講座 1 「重要無形文化財久留米緋と藍」 (山村省二氏/ 重要無形文化財久留米緋技術保持者会会長)	9 月 23 日 (月・祝)	130 人
② 講座 2 「阿波藍について」 (佐藤好昭氏/阿波藍製造技 術保存会)	10 月 13 日 (日)	67 人
③ トークイベント「藍のものがたり」展から福岡県立美術 館「久留米緋と松枝家」展へ (竹村眞一氏/京都芸術大 学教授、十四代今泉今右衛門氏/重要無形文化財「色絵 磁器」保持者、松枝小夜子氏/松枝崇弘氏)	10 月 14 日 (月・ 祝)	231 人
④ 担当学芸員によるギャラリートーク	8 月 25 日 (日)	37 人
⑤ 学芸員によるギャラリートーク 全 6 回	第 1・3 日曜	計 152 人
⑥ ボランティアによるギャラリートーク 全 6 回	第 2・4 土曜	計 127 人

3 「日本が見たドニ ドニの見た日本」 関連		
① 講演会「モーリス・ドニと日本：黒田重太郎を中心に」 (稲賀繁美氏／京都精華大学教授、国際日本文化研究センター及び総合研究大学院大学名誉教授)	11 月 30 日(土)	68 人
② 美術講座「近代洋画の並走者としてのモーリス・ドニ」 (佐々木奈美子／当館学芸員)	12 月 14 日(土)	52 人
③ 担当学芸員によるギャラリートーク 「展覧会概要および作品について」 「世紀末パリを中心にー黒田清輝とモーリス・ドニ」 「ベル・エポックー梅原龍三郎とアカデミー・ランソン」	11 月 2 日(土) 11 月 23 日(土) 11 月 24 日(日)	30 人 23 人 40 人
④ 映画鑑賞会「カラミティ」 全 2 回	2025 年 1 月 4 日(土)	計 45 人
⑤ 学芸員によるギャラリートーク 全 5 回	第 1・3 日曜	計 122 人
⑥ ボランティアによるギャラリートーク 全 4 回	第 2・4 土曜	計 105 人
4 「響きあう絵画 宮城県美術館コレクション」 関連		
① 担当学芸員によるギャラリートーク	2 月 22 日(土) 3 月 29 日(土)	40 人 43 人
② 学芸員によるギャラリートーク 3 回 (2024 年度)	第 1・3 日曜	計 48 人
③ ボランティアによるギャラリートーク 3 回 (2024 年度)	第 2・4 土曜	計 67 人
合計 (主催事業のみ) 52 回 参加者数		2,155 人

②展覧会関連ワークショップ等

事業名 (外部講師名)	開催日	参加者数
1 「ちくご ist 尾花成春」 関連		
①ワークショップ「混ぜて重ねてゴツゴツザラザラ～春を描く～」 (國吉篤子氏/「うさぎアートクラブ」主宰)	5 月 19 日(日)	7 人
2 「藍のものがたり」 関連		
① 「藍の生葉染め体験」 (松枝小夜子氏/重要無形文化財久留米絣技術保持者会)	9 月 7 日(土)	14 人
合計		21 人

(2) その他教育普及事業

事業名	開催日	参加者数
1 ワークショップ「色と形で音楽をえがこう！」 ※石橋文化センター「こどもスケッチ大会」の事業の一部	4月21日(日)	14人
2 夏休みイベント「ハギレをきってはってサコッシュを作ろう」	7月27日(土)	152人
3 藍を五感で感じる・茶話会とクルミボタンづくり	8月7日(水)	14人
4 プレママ&キッズデー (10時～15時)	12月23日(月)	112人
5 ペア鑑賞デー	12月24日(火) 12月25日(水)	26組 25組
6 久留米大学講義 (日本美術史Ⅱ) 「近代洋画における九州人/筑後人」 全15回	9月～ 2025年1月	23人
7 キッズ・ファーストデー (うち高校生以下入館者21人)	3月26日(水)	112人
合計		529人

(3) 美術館ボランティア事業

2024年度ボランティア登録者数 37人 (前年度 26人)

展覧会でのギャラリートークや、坂本繁二郎旧アトリエでのアトリエトーク、学校団体の受入対応やワークショップの補助を行いました。また展覧会および坂本アトリエについてのボランティア研修、福岡市美術館ボランティアとの交流会を実施しました。

美術館ボランティア研修等

	内容	開催日
1	「坂本繁二郎の画業と坂本繁二郎旧アトリエの歴史について」研修	5月18日(土)
2	福岡市美術館・久留米市美術館ボランティア交流会	6月9日(日)
3	「藍のものがたり」展・石橋正二郎記念館27期展示の概要研修	6月23日(日)
4	「日本が見たドニ ドニの見た日本」展の概要研修	9月28日(土)
5	「響きあう絵画 宮城県美術館コレクション」展の概要研修	1月25日(土)

坂本繁二郎旧アトリエでのアトリエトーク

9日間 (全18回) トーク参加者 計264人 (全入場者数 1,152人)

(4) 学校団体見学等 (大学生以下) ※入館者数には引率者を含む

区分	件数	(前年度)	入館者数	(前年度)
小学校	6件	(5件)	360人	(403人)
中学校	10件	(19件)	1,064人	(2,581人)
高校等	4件	(9件)	123人	(218人)
大学等	6件	(12件)	126人	(288人)
その他	13件	(4件)	411人	(150人)
合 計	39件	(49件)	2,084人	(3,640人)

・上記のうち、市内中学校団体受入 7校

5. 美術館管理事業

- (1) 作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理
- ・美術館 2 階画収蔵庫空調機動力盤構造機器取替（久留米市直工事）
 - ・美術館 2 階画収蔵庫用加湿器蒸気ホース取替修繕
 - ・美術館 1 階 2 階重量シャッター電動開閉器取替（久留米市直工事）
 - ・美術館、石橋正二郎記念館自動火災報知設備等更新（久留米市直工事）
 - ・美術館屋上玄関トップライト修繕（久留米市直工事）
 - ・美術館止水板収納フック取付工事
 - ・美術館 1 階西側搬入口スチール扉塗装工事
- (2) 1 階展示室貸与事業（前年度）
27 件（35 件）、延べ貸出日数 235 日（238 日）
入場者数 30,403 人（37,225 人）

6. 広報マーケティング事業

美術館及び美術館活動に関する情報発信

- ・ポスター、チラシ等印刷物や広報くるめ、みどりのリズム等情報誌、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、公式 LINE 等 Web 媒体等による情報発信
- ・マスメディア等による展覧会広報
- ・園内事業と連携した広告掲出
- ・百貨店や西鉄主要駅との広報連携

7. 美術館ショップ事業

- ・展覧会の図録、関連書籍、画材、文具等の販売
- ・絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売・製作
- ・楽水亭との展覧会関連商品販売等の連携

8. 協賛制度

「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」や園内の環境整備等に資する目的で企業・団体・学校からの事業協賛を募りました。

区 分	企業・団体数（前年度）
スペシャルパートナー	1 件（1 件）
オフィシャルパートナー	5 件（5 件）
キャンパスパートナー	2 件（1 件）
一般協賛	44 件（42 件）

《収益事業》

収 1	ホール運営事業及び会場利用者サービス事業
-----	----------------------

石橋文化ホール・文化会館施設貸与において、看板、花、ピアノ調律などを受注し、利用者サービスに努めました。

収 2	売店・喫茶事業
-----	---------

カフェ&ギャラリーショップ楽水亭（石橋文化センター内）
園内イベントや展覧会にちなんだカフェメニューの提供等を行い、売上の確保に努めました。

収 3	久留米市等公共団体からのイベント受託事業
-----	----------------------

当財団の有するノウハウを発揮し、久留米市から次の事業を受託しました。

- ・アンネのバラ管理・鉢上げ業務
- ・西鉄観光列車連携事業業務（西鉄花畑駅・福岡天神駅花壇設置等）

収 4	久留米市の公共施設の管理運営事業
-----	------------------

1. 久留米市野中生涯学習センター

石橋文化センターに隣接する久留米市野中生涯学習センターを指定管理者として、管理運営を行いました。

（1）施設貸与状況

	利用可能日数 (日)	利用率 (%)	利用者数 (人)	内 訳 (人)	
当年度	319	56.7	60,108	登録団体利用者数	42,773
				一般利用者数	17,335
前年度	323	48.3	60,177	登録団体利用者数	40,111
				一般利用者数	20,066

2. 久留米市民交流センター（久留米市庁舎内）

2019年度から5年間の指定管理期間を終え、2年間の延長期間の1年目。くるみホール特定天井の改修工事のため一般貸出を7月1日から2月13日まで停止。

収 5	駐車場管理運営事業
-----	-----------

文化センター諸施設の利用者に供するとともに、イベント時に警備員を増員することで入出庫時の混雑解消や周辺渋滞の緩和に努めました。

《事務局事業》

1. 石橋正二郎名誉市民顕彰会

世の人々の幸福と郷土の発展を願った石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝え、これからのまちづくりを進めるために顕彰事業を実施しました。

(1) 会員の状況

2024 年度会員 個人 65 人 (81 口) 法人 69 社 (69 口)

(2) 事業実施状況

①墓前祭

2024 年 9 月 11 日 (水) 千栄禅寺 80 人

②講演と展覧会鑑賞

2024 年 12 月 11 日 (水) 23 人

③ゆかりの地見学会「アサヒシューズ久留米工場」

2025 年 2 月 14 日 (金) 28 人

2. 青木繁記念大賞ビエンナーレ

第 7 回展をもって終了した青木繁記念大賞ビエンナーレに代わる、美術に関する事業を検討しました。その一案として、九州地域の高校生を対象とした公募展開催の可能性を視野に、県内の高校美術部等で調査を行いました。

Ⅲ 処務の概況

1. 役員に関する事項

2025 年 3 月 31 日現在

役 員	氏名	就任年月日	担当職務	現職
評議員	喜多村 浩司	2023. 6. 27		喜多村石油株式会社代表取締役社長
	内野 博夫	2021. 6. 29		久留米連合文化会会長
	絹笠 順一	2011. 4. 1		久留米文化推進協議会会長
	田中 功一	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	田住 和也	2023. 6. 27		久留米市議会議員
	早田 耕一郎	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	井上 謙介	2020. 6. 24		久留米市教育長
	豊福 由紀子	2021. 6. 29		久留米市子ども未来部長
理事	檜原 利則	2013. 6. 20	理事長	久留米市美術館館長
	永田 見生	2017. 3. 1	副理事長	久留米大学理事長
	本村 康人	2013. 6. 20		久留米商工会議所会頭
	西嶋 大二	2015. 6. 23		公益財団法人石橋財団常務理事
	龍頭 宏典	2013. 6. 20		旭ゴルフ株式会社相談役
	甲斐田 義弘	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	石田 眞一郎	2023. 6. 27		久留米市議会議員
	橋本 政孝	2022. 8. 15		久留米市副市長
	田代 理香	2023. 6. 27		久留米シティプラザ担当部長
	大橋 勝己	2023. 4. 1	常務理事	
監 事	大橋 英明	2024. 4. 1		株式会社ブリヂストン 日本セグメント財務会計・基盤構築部門 日本セグメント原価・固定資産管理課 マネジメント主幹 久留米工場 駐在
	白石 浩之	2023. 4. 1		久留米市会計管理者

2. 会議に関する事項

区分	年月日	議事事項	会議の結果
臨時評議員会 (みなし決議)	2024 年 4 月 1 日	第 1 号議案 評議員 1 名の選任について	原案承認可決
		第 2 号議案 監事 1 名の選任について	原案承認可決
第 1 回 定例理事会	2024 年 6 月 6 日	第 1 号議案 2023 年度事業報告並びに決算について	原案承認可決
		第 2 号議案 定時評議員会の招集につい	原案承認可決
定時 評議員会	2024 年 6 月 26 日	第 1 号議案 2023 年度事業報告並びに決算について	原案承認可決
第 2 回 定例理事会	2025 年 3 月 25 日	第 1 号議案 2024 年度補正予算専決処分について	原案承認可決
		第 2 号議案 2025 年度事業計画並びに予算について	原案承認可決
		第 2 号議案 評議員会の招集について	原案承認可決
臨時評議員会 (みなし決議)	2025 年 3 月 31 日	第 1 号議案 評議員 1 名の選任について	原案承認可決
		第 2 号議案 理事 1 名の選任について	原案承認可決
		第 3 号議案 監事 1 名の選任について	原案承認可決

3. 許可・認可・承認に関する事項

なし

4. 届出・申請等に関する事項

年月日	項目	摘要
2024 年 4 月 15 日	法務局へ登記	評議員 1 名の就任、監事 1 名の辞任及び就任
2024 年 5 月 24 日	福岡県（電子申請）	事業内容変更の届出
2024 年 5 月 24 日	福岡県（電子申請）	役員変更の届出
2024 年 6 月 28 日	福岡県（電子申請）	2023 年度事業報告等の提出
2025 年 2 月 21 日	法務局へ登記	評議員 1 名の辞任
2025 年 3 月 30 日	福岡県（電子申請）	2025 年度事業計画書等の提出

5. 組織に関する事項

※2025年3月31日現在・常勤役員は含まず

() 内は前年度

	一般職員	嘱託職員	市職員 (派遣)	他団体へ 派遣	合計
総務課	3 (3)	1 (0)	-	-	4 (3)
会場サービス課	4 (3)	1 (1)	-	-	5 (4)
企画広報課	4 (2)	-	0 (1)	-	4 (3)
園内魅力推進課	5 (4)	1 (1)	-	-	6 (5)
美術館総務	2 (3)	1 (1)	-	-	3 (4)
学芸課	4 (3)	1 (1)	1 (1)	-	6 (5)
合 計	22 (18)	5 (4)	1 (2)	-	28 (24)

Ⅳ 附属明細書

2024年度の事業報告の附属明細書について、事業報告の内容を補足すべき重要な事項は存在しない。